



今年6月に新車両が投入された市内循環バス“ていーろーど”

# いるま 市議会 だより

No.147

平成21年6月  
定例会号  
2009年8月1日発行

## 6月定例会

条例、請願など24件を審議……………2P

特別委員会が設置されました……………5P

16名が一般質問……………6P

市民の声、ミニ情報……………14P

# 第2回定例会

トピックス

2009.6

## 入間市税条例の一部を改正する条例など24案件を審議

平成21年第2回定例会は、6月4日から6月25日までの22日間開催され、提出議案等24件について審議されました。

内容としては、議員提出による特別委員会の設置2件、意見書3件、決議1件、市長提出による専決処分2件、人事案件2件、条例5件、一般議案5件、平成21年度補正予算2件と請願2件であり、請願を除くすべての議案が原案のとおり可決されました。請願2件は不採択となりました。

### 条例

#### 全部・一部改正条例

議案第49号	入間市手数料条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第50号	入間市税条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第51号	入間市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	賛成多数で原案可決
議案第52号	入間市乳幼児医療費支給に関する条例等の一部を改正する条例	全員一致で原案可決

#### 議案第50号

地方税法の一部改正に伴い、所要の改正をするもの。  
改正要旨は、個人市民税について、1.住宅借入金等特別税額控除の創設（附則第7条の3の2）、2.土地等の長期譲渡所得の1千万円特別控除の創設（附則第17条第1項、同第17条の2第3項）を行い、固定資産税について、認定長期優良住宅に対する固定資産税の減額の特例の申告方法を規定（附則第10条の2）するものである。

#### 議案第51号

地方税法の一部改正に伴い、所要の改正をするもので、①上場株式等に係る配当所得に係る国保税の課税の特例の読み替え規定、②長期譲渡所得及び短期譲渡所得に係る国保税の課税の特例規定、③上場株式等に係る譲渡損失の損益通算及び繰越控除に係る国保税の課税の特例の読み替え規定が追加された。

#### 廃止条例

議案第53号	入間市在宅介護支援センター条例を廃止する条例	全員一致で原案可決
--------	------------------------	-----------

#### 議案第53号

地域包括支援センターの整備が進んだことにより、従来在宅介護支援センターが有していた地域高齢者の総合相談窓口としての役割を地域包括支援センターが果たせるようになったことから、市の設置する在宅介護支援センターを廃止するものである。

# 人間CATVで 本会議を 全面放映 しています



- 放映チャンネル  
11チャンネル
- 放映時間  
議会開催日の午後6時から

## 請願

**介護家族への支援 「施設入居費の軽減と自宅介護者への支援策」についての検討委員会の立ち上げに関する請願**

本請願は、入間市小谷田在住の奥谷貞夫氏外64名より提出されたもの。介護家族の過酷な負担を軽減するための支援策として、①自宅で介護する者への支援金の支給、②施設に入居した場合の入居費が、入居者それぞれの年金額の範囲内で生活が送れるような環境の整備の2点を求めるとともに、これらの実現に向けた検討委員会の設置を求めるもの。審議の結果、反対多数により不採択と決定した。

## 議会を 傍聴しましょう

議会は住民の、住民による、住民のためのものです。次回の定例会は9月に開かれる予定です。

## 安心して子供が産める環境 「助産院の開設」の推進と、 市民参加型の助産院（所）の 開設準備プロジェクトの 立ち上げに関する請願

本請願は、入間市小谷田在住の奥谷貞夫氏外62名より提出されたもの。産科病院の減少と周産期医療体制の不備により、出産に関する不安が増加しつつある中、助産院を開設し、産科病院や総合病院の負担を軽減し、安心して子どもが産める環境を構築するため、①市民参加による助産院開設のプロジェクトの立ち上げ、②市内の助産院開設の推進を求めるもの。審議の結果、反対多数により不採択と決定した。



## 意見書

### 北朝鮮の地下核実験及び 弾道ミサイル発射の強行 に対する政府の厳格なる 対応を求める意見書(要旨)

本年5月25日北朝鮮は2度目の地下核実験を強行し、また4月には弾道ミサイルの発射を強行した。これらの行為は、いま全世界で機運が盛り上がりつつある「核のない世界」への流れ、ヒロシマ・ナガサキでの犠牲者の思いを無にするものにはならない。また、わが国の安全保障

本定例会において議員提出による意見書3件が提出され、全員一致で可決し、関係機関に提出されました。

### 基地対策予算の増額等 を求める意見書(要旨)

基地施設周辺の市町村は、基地所在に伴う諸問題の解決に向けて努力しているが、大変厳しい財政状況にある。こうした基地関係市町村に対しては、これまで総務省所管の基地交付金及び調整交付金が交付されている。また、国の責任において基地周辺対策事業が実施されている。

障並びに市民の生命及び財産の保護の観点からも看過できない。よって、入間、横田両基地に近接して生活し、平和都市宣言を制定した入間市民を代表する市議会として、北朝鮮における核兵器を含む全ての大量破壊兵器及び核開発の即時完全放棄、並びに全ての核実験及び弾道ミサイル発射の即時永久停止に向け、関係諸国との協調を図りつつ、あらゆる機会と手段を有効に活用し、厳格なる対応をなされるよう強く要望する。

基地交付金・調整交付金や防衛省所管の特定防衛施設周辺整備調整交付金は、基地所在による特別の財政需要等にかんがみ、3年ごとに増額されてきた経緯がある。よって、国は実情を配慮して下記事項を実現されるよう要望する。

- 1 基地交付金及び調整交付金は、平成22年度予算において増額するとともに対象資産を拡大する。
- 2 基地周辺対策経費の所要額を確保するとともに各事業の補助対象施設及び範囲を拡大する。

ハローワーク機能の  
抜本的強化を求める  
意見書(要旨)

休日・夜間の相談を求めるニーズも高くなっている。こうした状況に対応するため、「経済危機対策」において人員・組織体制を充実・強化することが決定されている。

現下の厳しい雇用状況の中で、ハローワークの窓口は、大変な混雑を呈しており、窓口機能が極端に低下している。また、

ついでには、下記の点に配慮の上、機能強化を図るよう強く要請する。

- 一、職員や相談員の増員に当たっては、業務の実態に応じて、適切な配分を行う。また、窓口相談に当たっては、適切な情報提供を行うよう努める。
- 二、夜間・休日の窓口業務の開庁を行うなど機能強化を図る。
- 三、若者・学生などの就職相談機能を強化する。
- 四、雇用調整助成金申請に相談体制やきめ細かな体制整備を図る。

決議

北朝鮮の核実験と  
弾道ミサイル発射に  
抗議する決議(要旨)

北朝鮮は核実験を強行した。核実験・弾道ミサイル発射も実施しないと要求した国連安保理決議や一切の核兵器・核計画放棄を合意した6

力国協議共同声明に違反する暴挙で到底許されない。オバマ大統領が「核兵器のない世界」を初めて米国の国家目標にする方針を発表、核兵器廃

本定例会において議員提出による決議1件が提出され、全員一致で可決しました。

絶に新たな機運が生まれつつある時期、核実験は、国際的動きに対する乱暴な挑戦で、北東アジアの平和と安定に重大な逆流となる。入間市は平和都市宣言を制定し「被爆国である我が国は、戦争を繰り返さないことを決意し、核兵器廃絶を訴えていかなければなりません」との決意を固め、国連憲章の平和原則の普遍的確立、核兵器の完全廃絶を希求。核実験と弾道ミサイル発射に厳しく抗議し、核兵器と開発計画放棄、6力国協議復帰を求める。

人事案件

公平委員会委員

本橋之彦 氏

入間市宮寺5 2 3番地  
全員一致で同意

教育委員会委員

松尾尚武 氏

入間市東藤沢一丁目5番2 2号  
全員一致で同意

請負契約の  
締結について

宮寺小学校校舎耐震補強等工事請負契約の締結について

契約金額	1億4,101万6,050円
請負業者	司産業株式会社本店



議員表彰

全国・埼玉県の各市議会議長会定期総会において、各議長会の表彰規定に基づき、本市議会より次の方が表彰を受けました。

在職20年以上

山下修子 前議員

— いるま市議会だよりについて —

ご意見・ご感想をお寄せください

市議会広報委員会では、市議会だよりの編集にあたり、皆様からお寄せいただいた貴重なご意見などを踏まえ、紙面、文書表現や色使いなどを改めてまいりました。今後も、より分かりやすく親しみやすい紙面づくりをめざしてまいります。

ご意見・ご感想は随時お待ちしております。

《議会事務局》 〒358-8511入間市豊岡1-16-1  
TEL : 2964-1111 内線5112~4 FAX:2965-7177  
Eメール : ir720100@city.iruma.lg.jp

## 議会人事

本定例会において、交通対策特別委員会及び基地対策特別委員会が設置され、新たに特別委員が選出されました。

### 交通対策特別委員会

◎近藤 常雄 ○金澤 秀信  
小出 亘 吉澤かつら  
永澤美恵子 宮岡 幸江  
横田 淳一 平山 五郎  
宮岡 治郎

### 基地対策特別委員会

◎金子 俊雄 ○山本 秀和  
石田 芳夫 安道 佳子  
向口 文恵 堤 利夫  
小島 清人 齋藤 國男  
野口 哲次

### 議会防災検討委員会

◎齋藤 國男 ○山本 秀和  
※正副委員長の選出

◎は委員長 ○は副委員長

※特別委員会は、常設の常任委員会と異なり、必要がある場合（2個以上の常任委員会を通ずる事件や特に重要な事件を集中的に審査する場合等）において、特定の事件を審査するために、議決で置かれる委員会です。

## 基地対策特別委員会

この特別委員会の概要をお知らせします。

- ◆設置目的：市内に所在するジョンソン基地跡地利用と人間基地・横田基地にかかわる諸問題についての調査研究及び提案を行う。
- ◆調査事項：ジョンソン基地跡地利用と人間基地・横田基地に関する諸問題
- ◆調査期間：設置の日（平成21年6月25日）から平成23年第1回定例会の閉会の日まで
- ◆委員定数：9人
- ◆閉会中の審査：閉会中も審査することができる。

## 交通対策特別委員会

この特別委員会の概要をお知らせします。

- ◆設置目的：市内の交通対策及び道路整備並びに公共交通機関にかかわる諸問題についての調査研究及び提案を行う。
- ◆調査事項：市内の交通対策及び道路整備並びに公共交通機関に関する諸問題
- ◆調査期間：設置の日（平成21年6月25日）から平成23年第1回定例会の閉会の日まで
- ◆委員定数：9人
- ◆閉会中の審査：閉会中も審査することができる。

## 請願処理経過等報告

市議会で議決された請願の議決結果は市長に対して送付されます。そのうち採択されたものについては請願処理経過等の報告依頼を行い、市長から定期的（①採択された翌定例会、②採択された翌年の6月定例会、③未処理のものは処理及び報告が終了するまで毎年の6月定例会）に報告を受けています（平成19年から開始）。ここでは平成21年6月4日に報告のあった請願処理経過等の概要をお知らせします。

<b>【件名】</b> 子ども医療費無料制度の拡充を求める請願	<b>【定例会】</b> 平成19年第4回定例会で採択
<b>【趣旨】</b> 1. 乳幼児医療費支給制度の窓口一時立替払い廃止  2. 同制度の対象年齢を小学校3年生まで拡大	<b>【処理経過等】</b> 1. 市内医療機関等で診療を受けた場合の自己負担分の窓口払いの廃止を行う。 実施時期：平成21年10月1日 2. 対象年齢の拡大 入院：平成22年4月1日～ 小学3年生まで 通院：平成22年4月1日～ 小学1年生まで 平成23年4月1日～ 小学2年生まで 平成24年4月1日～ 小学3年生まで

### 【表の見方】

**【件名】** 受理され、審議された請願の件名です。 **【定例会】** 件名の請願が審議された議会です。  
**【趣旨】** 件名の請願の内容を要約したものです。 **【処理経過等】** 市長から報告された処理経過等の内容を要約したものです。  
※第1回定例会は3月定例会、第2回は6月定例会、第3回は9月定例会、第4回は12月定例会です。  
※表に記載した趣旨、処理経過等の要約文は、議会広報委員会で作成しました。

### 【報告の対象とならない請願】

請願のうち採択されなかったものは報告の対象から除かれます。また、国への意見書の提出を求める請願など入間市の行政（執行機関）に対するものではない請願も除かれます。

# Question 1 一般質問

## Answer

6月定例会の一般質問は、質問者16名により6月17・18・19日の3日間行われました。  
※質問・答弁内容は、質問者本人が要約したものです。

### Question 1 小中学校での授業時数の確保を

山本 秀和議員

**質問** 新型インフルエンザ対策について、これまでの対応状況は。

**市長** 国内感染の広がりに対応し、庁内に関係部長会議、異常事態対策本部を順次設置。対応マニュアルの策定、情報収集、共有等に取り組んできた。今後市内で感染者が発生した場合には、対策本部を設置する。市民向けには、チラシの配布等、情報の周知に努めた。

**質問** 今後の流行に備え、これまでの対応を検証する考えは。

**市長** 検証は必要と考える。過剰反応にならないような適切な配慮が重要だ。国・県・近隣自治体等関係機関との情報交換、連携に努める。

**質問** 学習指導要領の改訂に伴う小中学校での年間授業時数の変化は。

**教育長** 小学校で国語・算数・理科・社会・体育が各々約10%増。中学校では数学・社会・体育等で増加。小中とも、総合学習・選択教科の削減分を相殺し、なお不足する週1時



人間の子どもたちに確かな学力を

間分は時間割に追加する。

**質問** 近年導入する自治体が増えつつある「二学期制」の導入を含め、年間授業時数の確保を最大限図り、授業時間のゆとりを確保すべきと考えるが、見解は。

**教育長** 学力向上の観点から、授業時数の確保は重要と考える。現行の三学期制の下で、学校行事の精選、短縮授業の削減等の対応を継続すること確保を図る。児童、生徒の現状、学校生活のリズム等を考慮し、「二学期制」の導入は考えていない。

### Question 2

### 環境保全・安全な街・入間市PR

横田 淳一 議員

**質問** 埼玉県が「街の工コ・オアシス保全推進事業」に指定し、第5次入間市総合振興計画で「水辺空間の整備」に位置づけている「谷田の泉」の具体的な事業計画とはどのようなものか。

**環境経済部長** 湧き水周辺に生息している「カワモズク」等の希少植物を保護し現在の自然環境を残すことを第一に、今後「谷田の泉保全管理計画」を策定し、『木柵・遊歩道・水に触れられる場所』などを整備し、周辺の管理については、今後地元自治会やボランティア団体と相談しながら進めて行く。

**質問** 市道幹48号線の道路と側溝の段差解消及び市道幹49号線との交差点の信号機設置の計画はどのような状況か。

**建設部長** 市道幹48号線は重点施工地域で、事業計画として、初年度に確定測量し翌2か年で工事を進めて行く計画であり、まず実施計画に載せるようにする。



定測量し翌2か年で工事を進めて行く計画であり、まず実施計画に載せるようにする。



アニメ映画の題材となった「ハタヤの稲荷」絶好のPRチャンス!

**質問** 市内「ハタヤの稲荷」を題材とした映画に対する市長の見解は。

**市長** フジテレビ開局50周年記念映画「ホッタラケの島」の公開は、入間市をPRする絶好の機会と捉え、「入間市知名度アップ委員会」を中心に観光協会・商工会への活動支援を通じ、また製作者・鉄道事業者・埼玉県及び関係団体等との連携を図り、入間市の魅力を日本全国に発信して行く。またガイドマップを市民の皆様にお届けする準備もしている。

## 新型インフルエンザについて。

齋藤 國男議員

**質問** 豚・鳥・新型インフルエンザの違いと、弱毒型・強毒型の性質と、人間に与える影響は。

**健康福祉センター所長** 豚・鳥の違いは、宿主が違うこと。人から人に感染する能力を有するインフルエンザウイルスに感染しておこるものが新型インフルエンザ。弱・強毒型の違いは感染部位が呼吸器に限定されるか否かによる。糖尿病、喘息等の基礎疾患のある人が影響を受ける。



**質問** 入間市の現況と、将来、今とは違った新型のインフルエンザが秋口に発症した時の市民・事業所職員に対する対策・対応策はどうか。

**企画部長** それらの状況を踏まえ、関係部長会議を開催、情報の共有を図るとともに、各部において、関連する外部機関との連絡体制の確認や、想定される事態への対応についての協議・確認を行う。



**質問** 保育所の指導の仕方と、共働きの保護者に対する対策は。

**福祉部長** うがい・手洗い・マスクの着用、咳エチケットを指示。その状況に応じた適切な対策を図っていく。県の要請に基づき、感染拡大を防ぐため、原則、保育所は休業。

**質問** 幼稚園・小・中学校の指導の仕方と、共働きの保護者に対する対策は。市内、高校生に発症した場合の対処方法の仕方は。

**教育長** 適切な情報を提供し、子どもへの健康観察を指導。共働きの保護者対策は、現在特に考えていない。小・中学生と同じ対処方法を指導。

## 農産物の販路拡大と農業振興

関谷 真奈美議員

**質問** 農産物直売所設置について、生産者、消費者のニーズはあるのか。実現に向けての課題は。

**環境経済部長** 農協によるアンケートでは生産者の約80%が出荷を希望している。消費者のニーズもある。課題は品数、品目がそろうかどうかである。

**市長** 直売所の設置には概ね賛成であるが、検討協議の場を設けるには時期尚早である。

**質問** 全ての小、中学校に入間市産野菜を取り入れるにあたっての課題は。

**環境経済部長** 学校の周りに野菜生産農家がないことが課題。また取りまとめるパイプ役が必要である。

**質問** 新たな施策として農業体験農園を開設しては。体験農園とは市民農園とは異なり、農家が主体となり、利用者は収穫物代金と技術講習の料金を支払うもの。見解は。

**市長** いわゆる「練馬方式」といわれるもので、入間市にも宮寺に1園ある。今後、農協・県と連携しながら前向きに考えていきたい。

**質問** 上藤沢にある市道幹53号線は速度規制標識が入口付近にないためわかりづらい。公安委員会に要請し、市としても対策を。

**市民部長** 地元警察と協議し、速度規制標識を設置する方向。市としては路面表示等を考えていく。

【このほか】  
○援農ボランティア育成について



宮寺にある農業体験農園

Question 5

## 公民館の効果と受益者負担の調整

野口哲次議員

**質問** 市では、入間市行政改革長期プランにもとづき、公民館の使用料のあり方を見直している。同プランで掲げている「サービスマイル」を利用して掲げている「サービスマイル」を利用して掲げている人との公平性の確保」という観点からは、趣味・教養的活動への使用料の免除は見直しが避けられない。

しかし、公民館は、地域の人々が学習をする場として、健康づくりをする場として、また、集い語りう場所



公民館活動での語り

として、大いに役立つ。受益者負担の見直しにおいて、このような効果は無視できないのでは。

**市長** 使用料の見直しは、行政改革からだけでなく公民館の社会的貢献も踏まえて議論していく。

**質問** 公民館の案内等で広く参加を呼びかけるなど公開性があり、かつ、会費が無料がまたはごく低額である団体とそうでない団体とで使用料の減免の適用に差異を設けては。  
**市長** 使用料減免の弾力的な運用は必要であり、市民が納得いく基準を検討していく。

**質問** 災害時の避難行動などに支援を必要とする要援護者名簿の作成においては、自ら希望する者を集める「手上げ方式」のほか、地域の担当者が働きかけ登録の同意を得る「同意方式」も併用するのか。  
**市長** 「同意方式」も検討していく。具体策は、福祉関係部局との協議により方向性を確認し、地域の福祉関係団体等との調整を経て決定していく。

Question 6

## 校庭を芝生化し、緑の校庭を

金澤秀信議員

**質問** 5月に発売されたプレミアム付商品券は、短期間で完売。市民や商店街にも第2弾、第3弾を望む声を受け継続発行を。

**市長** 経済的效果を検証し、財源を考慮しながら検討する。

**質問** 防犯灯・道路照明灯は市内に約9千300本あり年間電気・維持管理代が3千万円。年間一括払い方式を選択して、年間150万円の東京電力への支払いを節約すべき。さらにこの節約分を、自治会の防犯灯負担軽減分に充当するよう提案。また、環境にも優しい省エネ型の最新式防犯灯への切り替えに対する補助金の上積みにも充当することで、さらなる電気代の節約にもなることを提案。  
**市長** 節約に向けた取り組みを約束。充当案については、自治会側と話し合いをする。



**質問** 現在全国で1千500を超える学校が芝生化を実現している。近年急速に拡大する要因はこれまでの「芝生化は多額の予算がかかる」との概念を打ち破る低コストの「鳥取方式」の普及による。入間市でもモデル校を設定し芝生化を導入すべき。  
**教育長** 他の先進自治体の例も参考に検討する。

**質問** 毎年小中学生が作成・改訂する安全マップだが、行政の縦割りの弊害で活用されていないのが現実。市民生活課や道路整備課などの関係部署と連携を取り、危険箇所の低減を図るシステムづくりを。  
**市長** 早速実行する。



## 若年性認知症等のデイサービス

永澤 美恵子議員

**質問** 法改正により小規模福祉施設にもスプリンクラー等の防火設備が義務化された。①未設置施設数は。②補助金対象外の施設への対応策は。

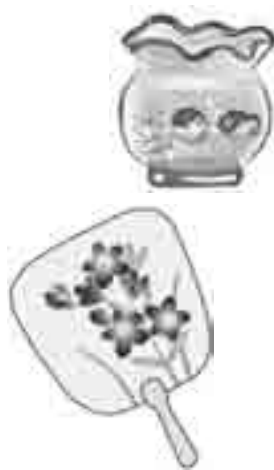
**市長** ①6施設。②今後の国の補助金の活用をみながら推進する。

**質問** 県単独事業「生活ホーム」のみが補助金の対象外となっている。市民の安全のためにも市独自の補助を行うか県に要望すべきでは。

**市長** 市単独は難しいが、県に要望していき、安全策を検討する。

**質問** 高齢者や障がい者住宅に無料で設置できる住宅火災警報器の推進が遅れている。女性防火クラブ等活用して周知し推進すべきでは。

**消防長** 積極的に推進する。



**質問** 経済不況により生活相談件数が昨年の1.5倍となっている。担当課の負担軽減、市民サービス向上のために市民相談室と連携し相談窓口を強化すべき。

**市長** 社会状況を見て検討する。

**質問** 若年性認知症や脳欠陥等の病気から若くして介護を必要とする方が増加している。現在社会参加できる機関がなく、家庭に引きこもり本人や家族の大きな負担となっている。40～50代の方が、希望を見出し、社会復帰を果たすために独自のデイサービスやつづこの場が必要である。国の施策を待たずに、生涯学習事業や公民館事業等と連携して対策を講ずるべきでは。

**市長** 深刻な問題である。他市の例を研究し、検討する。

## 消防における組織体制は

小島 清人議員

**質問** (1)消防広域化における組織体制は。(2)消防広域化における消防団の位置づけは。(3)消防団配備の車両及び特殊機材の状況は。(4)消防団員の年齢構成及び他市との比較は。(5)消防団員の後継者育成及び募集方法等は、どのようにしていくのか。

**消防長** (1)改正消防組織法により、平成20年3月に埼玉県消防広域化推進計画を策定。入間市は、所沢市、飯能市、狭山市、日高市の5市で広



地域に密着した消防活動を支える消防団

域化を進めることとなり、平成24年度末から広域化が実現する予定だ。(2)地域に密着した消防活動を行うという特性上、従来どおり、一市町村に一団を置くと思う。

(3)特に資格を要するものはないが、自動車運転免許に制限ができたため消防車などを変える方向はある。

(4)県内で3番目に若く、3年未満の団員には、消防学校等で訓練を受けてもらっている。

(5)FMラジオなどで消防団活動への理解を促すとともに、団員の募集も積極的に起こりたい。

**質問** 交通安全教室の実施状況と実施内容はどのようになっているか。

**市民部長** 各学校からの依頼要請で、低学年と中高学年に分けて交通安全指導員が向き開催している。

**質問** PTAや生徒を対象にした交通安全教育についての考え方は。

**教育長** 交通安全教育の充実が急務であり、交通事故ゼロをめざし声かけ運動や保護者と一体となった集中指導を充実させていきたい。

Question 9

## 子育て支援のさらなる充実を

向口 文恵議員



「あちゃんの駅」を示す旗

**質問** 埼玉県で進める「地域子育て応援タウン」の認定には①子育ての総合支援窓口を設置していること、②地域子育て支援センターを中学校区に1カ所程度設置していること、③子育てネットワークを設置していることなどの3要件が必要である。現状及び今後の取り組みについての考えは。

**市長** 総合支援窓口は、子育てマナーシヤールを配置し推進していく。支援センターも現在の6カ所から拡大し設置していく。子育てネットワークも設置できるよう努力し、平成23年度までには県の認定を受けるようにしていきたい。

**質問** 認可外とはいえ、社会的役割を担っている認可外保育園に何らかの支援ができないか。

**市長** 情報交換は必要であるが、今の段階で支援はまだ厳しい状況であり、時間を要する。

**質問** 認可外とはいえ、社会的役割を担っている認可外保育園に何らかの支援ができないか。

**市長** 情報交換は必要であるが、今の段階で支援はまだ厳しい状況であり、時間を要する。

**質問** 入間市駅北口に、区画整理事業の一環として建設予定のエレベーターを早期前倒し設置できないか。

**市長** 区画整理の性格上、時間がかかるのはやむを得ず、早くてもあと10年を要する。エレベーター設置は総合的に判断し北口再開発と同時に着工が望ましいと考える。

Question 10

## 消費増税反対と高齢者医療無料化

石田 芳夫議員



健康福祉センター

**質問** 消費税導入から20年、黒幕は巨額の政治献金を握る財界だ。今回も日本経団連は10%、17%への消費税増税と法人三税の10%引き下げを要求。消費税導入・増税のたびに「社会保障のため」としてきたが、医療・年金・介護・障害者など、「社会保障切捨て」の20年間だった。消費税は年間17兆円、その内4兆円は輸出戻し税で大企業に返され、税収は13兆円。20年間で国民は

213兆円課税され、大企業などの法人三税182兆円減収の穴埋めに。消費税が社会保障のためは偽りではないのか。

**市長** 日本は輸出大国で、それが国内に還元される。超借金大国であり、消費税が福祉以外に使われるのもやむをえない。

**質問** 生活保護水準以下の世帯はその数倍いる。生活保護世帯の消費税負担額は年13万円。消費税増税は低収入世帯や自営業者の生活と景気回復にどう影響するのか。

**市長** 消費税増税は重い負担となり、課税対象の見直しをおこなうべきだ。景気回復の足かせにもなる。

**質問** 高齢者は医療費が一番の心配。シャスコやアウトレットなどの税収が生まれ、30数億円で健康福祉センター建設、毎年11億円の維持費で健康増進をすすめており、日の出町と同じ規準なら7億円余でできる。

**市長** 三企業による税収は3億2千万円あるが、自治体により優先する重点が異なる。入間市はやらない。

## 保育施策の充実で子育て支援を

古澤 かつら 議員

**質問** 経済危機による影響で、母親が就業しなければ生活が成り立たない状況が生まれている。今後、保育所入所のニーズが高まると思われるが、待機児童解消に向けた計画は。

**市長** これまでも保育所（園）の整備を行ってきた。今後も計画的な整備を行っていく。

**質問** 入間市の保育料は2人目が半額、3人目は1割分の負担となっている。飯能市や所沢市では3人目以降の保育料無料化を実施している。入間市でも3人目以降の無料化を。

**市長** 国が予算化しているようなので、それに伴い実施していきたい。

**質問** 保育料は前年の所得に応じて算定されるが、失業などで前年よりも所得が減り、保育料の支払いが困難になる家庭の増加が心配される。市の規定では「市長が認めた場合」は保育料の減免ができることになっている。東京の狛江市では家庭の状況に応じた減免を実施しており、入間市でも、このような保育料の減免を行うべきと考えるが、見解は。

東京・狛江市の保育料減免制度	
1	生活保護法の保護を受けたときや、今年度の市民税を非課税又は免除されたとき
2	前年度分又は今年度分の市民税の徴収猶予、納期の延長となった場合
3	今年中に前年の所得金額に対して、10%以上に相当する額の災害を受けたとき
4	今年中に前年の所得金額に対して、5%または所得税法による最高限度額以上の純医療費を支出したとき
5	今年中に出産等により稼働能力のない世帯員が増えたとき
6	今年中に主たる稼働者が、失業、死亡もしくは離婚等により世帯を分離したとき
7	世帯の前3ヶ月の平均収入月額が前年の平均収入額より2割以上低額と認められたとき

**市長** 今まで通りの運用を行う。制度を拡大するわけにはいかない。

**質問** 今年の10月から住民税の年金天引きが始まる。この間に実施された増税の影響で高齢者の暮らしは厳しくなっている。住民税の天引きはやめるべきと考えるが見解は。

**市長** 納税者の利便性が図られるものと認識している。

【このほか】  
○男女共同参画推進条例について

## 核廃絶宣言を・介護保険の充実を

安道 佳子 議員

**質問** 米大統領が核兵器のない平和で安全な世界を追求することを宣言。核兵器廃絶の動きが、国内外で大きくなっている。入間市からも核兵器廃絶の声をあげ、「平和都市宣言」から、「非核平和都市宣言」へ発展させるときでは。

**市長** 世界的に機運が盛り上がっていると思う。入間市の平和都市宣言には、環境や防犯、交通安全など様々込められており、「非核」の文言を盛り込む考えはない。

**質問** 北朝鮮の動きに対して、入間市議会は「北朝鮮の核実験と弾道ミサイル発射に抗議する決議」を全会一致で採択している。市長は15万市民を代表して抗議の声明を。

**市長** 議会が決議したことは評価するが、15万市民の長として態度を示すことは解決にならない。抗議する意思はない。



**質問** 今年4月、介護認定制度の改定により、これまでより、軽度判定される事例が出てきて問題になっている。入間市の状況はどうか。

**市長** 5月27日までの審査は201件、軽度判定は37人、変化なしが133人、引き上がった人は31人となっている。軽度判定については、経過措置として、これまでの判定を維持させるよう対応していく。

**質問** 介護保険料、利用料などの負担が重いとの声がある。なんらかの軽減策を検討すべき。

**市長** 保険料は近隣市に比べ高くない。軽減策は現状制度で対応する。

Question 13

## 大型遊技場建設について

小出 巨議員

**質問** 仏子地域で大型パチンコ店の建設が進んでいる。地域住民の生活に大きな影響を及ぼすことが予想される。現在この地域は大変静かな環境で自然にも恵まれている。住民の多くはこの静けさにひかれてこの地域を選んだという話も聞いている。住宅地の真ん中にこのような施設ができることに市としてはどのように考えるのか。

**質問** 通学路にもなっている道路近辺へのパチンコ店の進出は児童が交通事故にあう危険を増大させる。また、付近の道路に深刻な渋滞をもたらすことが予想される。交通対策はどのように行っていくのか。



**市長** 事業主と話し合い、狭山警察署にも協力を求めていく。

**質問** 住民が納得できるように業者に市が説明させるべきではないのか。

**市長** 法的に市が介入していくのは厳しいものがある。

**質問** 今後も工業用地近辺に住む住民にとって利益に反する事態が起こってくるのが予想される。業務施設が閉鎖になった場合など用途地域の変更は検討できないのか。

**市長** 用途地域は長い年月をかけて決まったものであり、現在の状況では変更することは難しい。



Question 14

## 観光資源の活用・バリアフリー化

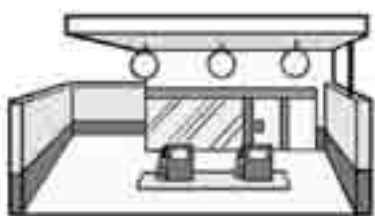
堤 利夫議員

**質問** 埼玉県建築物バリアフリー条例に基づく対象建築物のうち医療施設のバリアフリー化は、車椅子利用者にとって大事な視点であり、とりわけ車椅子で利用できるトイレの整備状況について。

**健康福祉センター所長** 医療施設のバリアフリー化については、市の権限が及ばないが、関係機関と協力して情報を収集する。

**質問** 健康福祉センターへのアクセスとして、シャトルバスの運行がされているが、一部、富士見通り線への分割運行ができないか。

**健康福祉センター所長** すべての便が路線バスと連絡しており、分割運行することは困難である。



**質問** 特質して観光資源を持たない入間市において、大型商業施設や「夫婦道」の放映等により、知名度が上がっている。観光振興のため、企画や商品開発を担うプロデューサーや観光ガイドの育成等、これを機に、観光行政の戦略的取り組みをすべきである。

**市長** 「夫婦道」は、シリーズ化が視野にある。観光資源の活用を観光協会の会員に呼びかけていく。

**質問** 昨年開店した給油所の防火塀は、交通障害とならないような設置方法がとれなかったか。

**消防長** 車の出入り、鉄塔の位置等から、灯油販売施設を現在地に設置せざるを得なかった。今後、交通事故防止のため、改善策がないか検討する。

# 公立保育所の耐震・元加治駅南口

宮岡 治郎議員

**質問** 北東アジアの平和に、地方自治体の国際交流は貢献している。中国奉化市との友好都市交流は。

**市民部長** ほぼ毎年の訪問団派遣と受入が定着している。中学生のホームステイは有意義。国家を超えた個人同士の関係が、少しずつ拡大。

**質問** 公立（市立）保育所の耐震化。①施設建物の築年・構造等は。②耐震化計画はどのようになっているか。

**福祉部長** ①11施設中、昭和56年

以前の旧耐震基準は9施設。②耐震改修促進法の対象に2施設。残りも含め、全施設の耐震診断をする。

**質問** 仏子上広瀬公会堂前の市道の、前堀川を越える延伸。①用地の寄付を受けているか。②同様な条件で未着工の例は、他にもあるのか。

**市長** ①工事には約2・3千万円かかるが、1・2年中に橋だけでも架け替えに努力。②他には全く無い。

**質問** 仏子のパチンコ店予定地と周辺。①施設の規模と許可権限は。②道路の交通渋滞と交通安全対策は。

**市長** ①敷地面積は約9千500㎡、本棟は2階建約1千900㎡。開発指導は市長、建築確認は県の建築主事、営業許可は県の公安委員会。②歩行者の安全を確保し、円滑な交通も。

**質問** 元加治駅南口の開設。①飯能市等との協議は進んでいるのか。②様々な柔軟な対応が出来るのでは。

**市長** ①飯能市長から強く要請されている。鉄道側は積極的ではない。②駅構内の改良でも調整した。色々な手段を含めて、取り組みたい。



パチンコ店予定地の工事。左奥に公団入間リバーサイド団地32号棟。

## 入間市議会の経費削減の取り組み

市議会では経費削減の取り組みを継続・強化しています。昨年度（平成20年度予算）、本年度（平成21年度予算）においても様々な工夫を行いました。ここでは主な取り組みの概要について報告します。

市議会では、今後も市民の代表者として、市の諸事業を監視・チェックしてまいりたいと存じます。

平成21年度① 議員定数の削減  
削減内容 定数 24人→定数 22人（二人削減）  
年間削減額 約 1,600万円

平成21年度② 議長交際費の削減  
削減内容 年間予算 70万円→年間予算 50万円  
年間削減額 20万円

平成20年度① 期末手当 0.2カ月を継続して減額（1年間）  
削減内容 年間 4.4カ月→年間 4.2カ月  
年間削減額 241万 9,440円  
平成12年度からの総額は2,337万 6,720円となりました。

平成20年度② 議場の照明の切り換え  
削減内容 従来の白熱電球から電球型蛍光灯に切り換えました。明るさは2倍以上となり、消費電力及び二酸化炭素排出量は約40%削減されました。



## 託老所「ひだまり」に参加して

春日町 渡邊健夫（自営業）



男は退職、女は子育てを卒業、やるべき決まりを失い、行く場を失い、時間を如何に消費すれば良いのか苦慮する昨今、ある友より「ひだまり」を紹介され参加しています。毎月第一・第四木曜は参加者全員がピアノ演奏に合わせて懐かしい歌を歌い、又第三木曜は食事会（有料）が行われています。更に毎週月・水・金曜は自由参加の託老所となり、参加費はコーヒー（お菓子付き）150円となっています。この託老所は参加者の方々が協力して運営を補助するという観点からして参加料が高いか安いかはともかく、参加される方々は楽しく過ごしております。折り紙や音楽を聴く、若い日の思い出や身近な悩みを語り、それぞれ思い思いのグループに分かれて楽しんでおります。散歩の途中に立ち寄る方もあれば、雨宿りをする方もいます。ストレス解消のお手伝いができれば幸いです。



東町 山下恵久子（主婦）

## “ちいき”は夢の宝庫

若かりし頃休日はアウトドアライフを楽しむ為、都内から入間市内を通過して目的地まで行っていました。当時、車窓から見える入間市は生活するにはとても不便そうに映りました。それなのに不便と感じた入間市に住むことになって30年、今では遠出をしても帰路「入間市」の標識を見るとほっとし、狭山茶を愛飲する毎日です。あつと云う間に発展して便利になりました。6月の市報に市は三つの福祉計画を策定したことをお知らせしていました。その一つ、地域福祉計画に係わらせて頂いた一員として活動の実現を見届ける責任があると思います。計画書にもある様に「きつかけ」や「気づく」ことは人と人との出会い、住民と地域の出会いから始まる。地域は可能性の宝庫。私たちも人、地域から大いに気づかせてもらいながら元気な地域の夢に向かって、入間市を大切に思いたいものです。



## 9月定例会日程案

- 8月27日（木）開会
- 9月 1日（火）総括質疑
- 9月 2日（水）総括質疑
- 9月 3日（木）総務常任委員会
- 9月 4日（金）都市経済常任委員会
- 9月 7日（月）福祉教育常任委員会
- 9月 9日（水）一般質問
- 9月10日（木）一般質問
- 9月11日（金）一般質問
- 9月18日（金）閉会

※日程については、変更する場合がありますので、議会事務局へお問い合わせ下さい。

2964-1111 内線5112・5113



## 議会広報委員会

- ◎野口 哲次 ○山本 秀和 吉澤かつら
- 関谷真奈美 塩屋 和雄 向口 文恵
- 横田 淳一 齋藤 國男 宮岡 治郎

◎は委員長 ○は副委員長



## 三二情報

「谷田の泉」  
自然保護事業始まる

西武地区の野田地内にあります「谷田の泉」をご存知ですか。この湧き水が、平成20年度「まちのエコ・オアシス保全推進事業」の保全地として選定され、周辺約1haを公有地化し、今後この自然豊かで良好な自然環境を保護し、持続的に保管理をしていくことになりました。具体的には、野生動植物の生育調査や保護、既存地形の保全、市民の皆様との調和のとれた環境整備をまいります。

谷田の泉は、縄文時代から続く湧き水で、水は澄み夏でもひんやりとしており、周辺は雑木林、草原や休耕田が広がり、まさに清浄な空気に包まれた癒しの空間といえるでしょう。初秋には彼岸花やアザミが咲き、絶滅が心配されるカワモズクなどの水生植物が生息しているなど、貴重な自然環境を築いています。

この生態系を保全しつつ、新しい散策スポットとして、お気軽に足を延ばしてみは？

